

STEP
07

資料をもとに分析を述べよう

D型 = 資料引用をふまえた考察レポート、D1 : 分析型

1. 本格的な考察文

- STEP 02で述べたように、レポートには何かを説明するものと自分の考察を述べるものがあります：

「説明文……「〇〇について説明しなさい」「まとめなさい」などの出題に対するレポート
「考察文……「〇〇について論じなさい」「考えを述べなさい」などの出題に対するレポート

- 説明文については、STEP 03「わかりやすく説明しよう」で資料引用のない簡易なもの（A型）を書いてみました。その後、引用の練習の回（STEP 05）を経て、STEP 06「期末レポートを書いてみよう」では資料引用をふまえた本格的な説明文（C型）を書きあげました。
- 考察文については、STEP 04「わかりやすく主張しよう」で資料引用のない簡易なもの（B型）を書きました。これからはじまるSTEP 07～09では、資料引用をふまえた本格的な考察文（D型）を書いてみます。
- D型の考察文は様々な構成をとりますが、ここでは以下4つの形にしばって説明していきます：



- 今回の STEP 07 では、D 1 「分析型」でレポートを書いてみます。

2. 作業手順

2-1. ワークシートの記入

- 資料Aを読んだ上で、ワークシートAを記入していきます：

- 序論……レポート全体の概要です。今回は、ワークシートにあらかじめ印刷してあります。

→レポート全体の概要とは、論点（何について考えるのか）と主張（最終的にどう考えたのか）を簡潔に述べたものになります。たとえば STEP 04 では「商店街の空き店舗について（論点）」「買い物中の託児所として利用することを提案する（主張）」といった概要を、序論に書いてもらいました。

→ただし、D型では主張も複雑になります。簡潔にまとめることが難しいようなら、ワークシートに印刷してあるように論点を書くだけでもかまいません。

・本論1……論点の説明

- 序論で簡潔に述べた論点について、より詳しく説明していく部分です。資料の引用が必須です。
- 直接引用でもいいのですが、今回は、前回 STEP 10 で練習した間接引用（要約して紹介する）で説明してみましょう。ワークシートに書き出しの文章などが印刷してあります。それを頼りに資料を要約してみてください。メモ書きでかまいません。

・本論2……自分の分析

- 「考察文」とか「主張」「意見」というと、何か提案をすることのように思うかもしれませんが、論点で述べた状況や問題がなぜ起きているのか、自分なりの分析を述べることも考察であり主張です。
- というよりも、分析こそが考察文の要です。
論点に対する十分な分析がないまま提案だけ述べても、説得力はありません。STEP 09 でソーシャルビジネスの企画書を書いた時も、社会問題の背景を分析した上での提案になっているかどうか、アイディアの説得力の要だと述べました。

・結論……ここまで述べてきたことを、簡潔に要約して読者に再提示する部分です。

- ワークシートに書き出しだけ印刷してあるので、自分で自分の分析を要約して書き入れてください。

2-2. グループ内で発表

- ・ワークシートを埋めるところで1週目は終わりです。
- ・翌週は、グループに分かれて、ワークシートに書いた**自分の分析を発表**していきます。
 - グループごとに司会も決めます。
 - ワークシートのメモ書きを読みあげただけでは、具体的なことが分からないと思います。司会は（また他の人も）**具体的なことを質問**して聞き出してってください。
 - 他の人から質問を受ける中で、自分の分析の**分かりにくい部分、欠けていた部分、より発展させられる部分**などがわかってくるはずですよ。
 - また、他の人の分析で面白いものがあれば、**自分のワークシートに組みこんでかまいません**。
- ・自分ひとりでは見えないこと、できないことが、みんなでやれば可能になります。これがすなわち**グループワーク**です。
 - グループの中の誰か一人の意見に統一する必要はありません。それはディベートであって、グループワークではありません。

2-3. レポートを書き起こす

- ・ワークシートがしっかりできあがったところで、Wordで新規文書を開き、レポートとして書き起こして行ってください。

3. 問題のおかわり

- ・もう一問、資料BとワークシートBも用意しました。同じやり方でレポートを書いてみてください。
- ・強制ではありませんが、やってくれたら確実に成績は上がります。